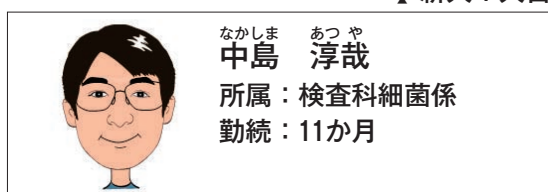




今月の笑顔

職員紹介コーナーです。今回は、平成26年度下期から平成27年度上期にかけ当検査センターに入職した新入職員6名をご紹介します。ここに登場した職員から、当検査センターの横顔が少しでも垣間見えたなら何よりです。

♠ 新人1人目



前職の経験を生かしさらに前進を

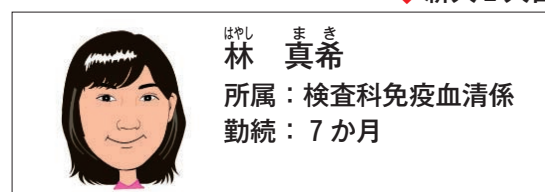
私は昨年11月まで島根県の病院で勤務しておりましたが、縁あって当検査センターへ入職いたしました。前職では病院内の検査室に約14年間勤務し、うち8年間は細菌検査室で勤務してまいりました。

現在は細菌検査係に配属され、検査センターでの検査手順を一生懸命覚える毎日です。細菌検査はほとんどが手作業で経験の蓄積が重要です。前職では院内の医師や看護師等、多職種の方と十分なコミュニケーションを図ることが、「臨床の求める付加価値のあるデータ報告」には欠かせないことを学んできました。この経験は当細菌検査係でもしっかり活用していきたいと思っています。

今後の自分の目標としましては、特定の医療機関のみならず、地域医療全体に有用と思われるような付加価値のある情報提供ができたらと考えております。

当検査センターは、検診事業や行政と連携しての学童検診、また、検査センターだよりなどの広報活動にも前向きでとても魅力を感じています。

♥ 新人2人目



免疫血清係での充実した日々

私は、今年4月から6月末までの3か月間、学童尿検診に従事した後、7月より免疫血清係に配属され現在に至っています。

免疫血清係は、輸血関連の検査と感染症関連の検査を主な業務としています。どちらも重要な検査ですが、特に血液型やクロスマッチ等の輸血関連検査はすべての過程を的手法で実施するため、日々の業務経験の地道な積み重ねが何より大切だと痛感しています。

現在私は、輸血検査では「凝集反応の正確な判定」、感染症検査では再検の処理も含め「当該分析機を迅速・正確に使いこなす」ことを目標に業務にあたっています。

先輩方は時間の使い方がとても上手く、一度に多くの依頼が来ても業務時間が大きくずれ込むことはありません。また、各検査の臨床的意義等にも詳しく、知識量の豊富な先輩方をとても尊敬しています。

一日も早く一人前の臨床検査技師になり、先生方や患者様のためにお役に立てるよう毎日の業務を頑張っていく所存です。今後ともご指導よろしくお願いたします。

*引き続き次号からも、残る新入職員4名の“笑顔”を2名ずつお届けいたします。